

次世代ホープ賞 インタビュー

令和元年度久留米市優良施工事業者表彰式では、優良施工表彰（事業者）に加え、若手技術者を対象とした『次世代ホープ賞』の表彰をしました。

近年ベテラン技術者の退職、若手技術者の雇用難など次世代の担い手確保が厳しくなる中で、今後の建設業界の技術力向上と公共工事の品質確保を図ることを目的としています。

表彰式終了後、受賞された6名のみなさんに、今回受賞した工事で印象に残ったことや、仕事のやりがい、今後の目標などをお聞きしました。



京町小学校屋内運動場棟改築工事を施工された
株式会社 篠原工務所 白水 孝生さん

「児童の安全対策が最重要であることから、コンクリート打設・塗装・防水施工や資材搬入時間は登下校の時間帯を避けたり、学校が休みの日を選んで施工を実施しました。」

「完成した時には、施工中に苦勞したことなど忘れさせてくれる程の達成感を味わえます。また、工事完成時に、京町小学校の児童から感謝状を頂いたときは、この仕事をやり遂げて良かったと感じました。」

「このような賞を頂いたことを誇りに思い、若手技術者の育成にも力を注ぎたいです。」

平成30年城島総合支所空調設備改修機械設備工事を施工された
株式会社 久留米空調サービス 富森 優一さん

「総合支所であることから、平日に作業工程を組むことが厳しく、土日に作業が多くなり、作業員の確保・材料搬入に非常に苦勞しました。」

「全ての工事が完了した時の達成感は、ものづくり技術者として一番やりがいを感じる瞬間だと思います。」

「後輩への指導の際に、自身が失敗した苦い経験などを伝えながら、若手技術者の技術の継承にも力を注ぎたいです。」



中央卸売市場給水管改修工事を施工された

株式会社 クリアウォーター設備 渡具知 武之さん

「市場の機能上、24時間水道を利用した機器類が稼働していることから、今回整備した水道管に切り替える際に断水工事が必要となり、店舗への説明・日時の調整などに時間を要しました。」

「管工事は、安全・安心な生活に密着し、欠かすことのできないライフラインを扱う工事となることから、お客様から喜びの笑顔、感謝の言葉を頂いたときなどに、この仕事をしてきて良かったと感じます。」

「これを励みに、更なる技術力の向上を目指し、新たな資格取得にも挑戦していきたいです。また、これから入職する若手技術者にも自身の経験を伝えながら次世代の技術者育成の力になりたいです。」



京町小学校屋内運動場棟改築電気設備工事を施工された

西部電業 株式会社 東垂水 祐樹さん

「学校内では、児童・先生の往来への配慮、資材搬入時には登下校時を避けた時間帯での調整など、特に安全対策には細心の注意を払いながらの施工計画が必要でした。」

「頑張った結果が形になって残ることで、次のステップへの励みに繋がるとともに、完成した建物を利用頂いているのを見ると、自分も久留米のまちづくりのワンピースになれた達成感を感じます。」

「これからも、日々自己研鑽に励み、会社の発展のため、未来の子どもたちのためのまちづくりに寄与していきたいです。」

水道管改良（荊原交差点東）工事を施工された

株式会社 大成 山田 恭也さん

「工事箇所が子ども達の通学路であり、特に下校時間帯は施工と重なる時間もあったことから、安全対策には特に注意しながら工事を進めました。また、水道工事では複数回断水しての工事が必要となることが多いことから、綿密に調整を行い、断水回数を減らした施工を行いました。」

「仕事はキツイときもあるが、重要なライフラインの工事であるから、工事が完了した時、お客様から感謝の言葉を頂いた時には、達成感・やりがいを感じます。」

「これからも技術向上に努め、後輩の指導にも目を向け、今後の水道技術者の模範となるような技術者を目指していきたいです。」





リバーサイドパーク（東櫛原地区）整備（その2）工事を
施工された

有限会社 寿楽園 近藤 世士典さん

「6,000 m²を超える駐車場整備の工事で、砕石・アスファルト合材などを大量に搬入する工事で、日々大型ダンプの出入りが多かったことから、特に安全管理に注意を払いながらの施工となりました。また、河川敷のため側溝等の構造物が無かったことから、水溜り等が生じないように舗装面の勾配に気を配りながら施工しました。」

「自身が納得できる仕事が出来たものについては達成感があります。」

「若手技術者の育成も重要な役割になるとともに、自身の子ども達にもこの仕事に興味を持ってもらえるよう、今後もいいものづくりに励んでいきたいです。」

地域の住民や利用される方々と協力し、安全対策に細心の注意を払い工事を行う姿勢が印象的でした。また、市民生活に欠かせない大切な工事を行っているという熱い思いが感じられるインタビューでした。

まさに、次世代を担う6名の「ホープ」のご紹介でした。